

先輩受講生の声



白岩千尋さん(2013年冬に受講)

セミナーに参加した事で、全国に仲間が出来た事が強みになりました。ここでの出会いがきっかけとなり、チームでの活動を開始、今では海外輸出にもチャレンジしています。ここで出会った仲間が、今の自分の宝です。

普通なら何日間も掛けないと集まらない情報を、1回のセミナーの数日間ですべて聞く事ができた。立て続けにいろいろ詰め込む事によって、自分の中で整理しやすくなったことも事実です。(7日間コースに参加)

農業を始めようか、考えている時に参加し、その上で就農しました。一番良かったのは、農業って世界観がこんなに広いんだっていうことに気付いたこと。自分たちで販路も築いてける可能性もある。生産だけではなく、どうやって売って行くのか、こうやって広げて行くのか、と講師の話を聞いて考えるきっかけをもらった。それ以上に良かったのは、仲間が出来た事。Facebookなんてやったことも無かったが、みんなが繋がるのであればと勉強した。そこでまた仲間が繋がった。全国区で来ている。全国でやり取りができるのが大きい。(7日間コースに参加)



藤井敬治さん(2012年夏に受講)

eラーニングによる事前学習・事後学習のご案内

本セミナーは、集合研修とeラーニングを組合せて構成されます。受講者の方には、当法人のeラーニングの内、以下のコンテンツを視聴していただきます。

※お申込み時にeラーニングのアカウントを発行いたします。

事前課題	「日本農業界・農政の現状」 「何故農業経営力が求められているか」 受講の前段階として、農業に経営力が必要とされる背景について学習する。	日本農業経営大学校 校長 岸 康彦 氏
事後課題	「活躍中の地域農業者について」「ITに関する視点」 「GAPに関する視点」「観光に関する視点」 「地域リーダーの資質」「経営計画書作成」等々、 受講後、農業経営を行うにあたり必要とされる様々な要素について学習する。	※詳細はセミナーで 説明致します

E-LEARNING



スマートフォン用
QRコード

農業経営力養成講座

農業経営の実践を学ぶ



7日間コース

期間

平成27年
1/28(水)～2/3(火)

会場

LMJ東京研修センター
特大会議室

東京都文京区本郷1-11-14(小倉ビル2階)
(JR「水道橋駅」東口より徒歩6分)
地下鉄三田線「水道橋駅」A6出口より徒歩3分

次世代の農業経営者と共に・・・

先輩経営者の話を聞き...

先進事例を視察体験し...

農業の新しい可能性を探求しよう！

互いに意見をぶつけ合い...

自身の想いを発表し...

セミナー
受講費

	7日間	スポット参加
学生	10,000円	2,000円/1日
一般・教員	20,000円	5,000円/1日

※左記受講費には、受講者の食事代ならびに宿泊施設から会場までの交通費は含みません。
※宿泊先の提供と宿泊にかかる費用は当法人にて負担します。(スポット参加は除く)
※本セミナーの受講対象者は高校生以上となります。

一般社団法人 アグリフューチャー・ジャパン
(日本農業経営大学校 運営団体)

お問い合わせのご連絡は TEL:03-5781-3750

※本セミナーは農林水産省「新規就農・経営継承総合支援事業」の一環として実施するものです。

E-mail:seminar@afj.or.jp 担当:竹村 まで

7日間コース 1月28日(水)～2月3日(火) プログラム内容			
農業経営の実践について学び、先輩農業者の経験談を参考にし、自身の経営計画を考えてみよう			
日程	時間割	テーマ	講師
1/28 (水) 1日目	■＜マインドセット＞農業を取り巻く環境と自己経営への影響を考える		
	13：00 ～14：00	＜＜オリエンテーション＞＞ 自己紹介などを通じ、研修を有意義なものにするために受講目的を明確化する	事務局 (アグリフューチャージャパン)
	14：15 ～16：00	＜＜農業経営者の役割について考える＞＞ 第一線で活躍する農業経営者である澤浦氏から、農業経営者の役割における考え方について学ぶ	株式会社野菜くらぶ 代表取締役 澤浦 彰治 氏
	16：15 ～18：00	＜＜農業経営の特徴を理解する＞＞ 農業経営におけるリスクや問題を把握するため、具体的事例などから学ぶ	株式会社kenma 代表取締役社長 今井 裕平 氏 AFJスタッフ
1/29 (木) 2日目	■農業経営の問題解決のプロセスについて学ぶ		
	9：00 ～10：30	＜＜農業をとりまく環境について考える＞＞ 農業経営者として広い視野を身につけるため、今日における農業を取り巻く環境について学ぶ	農林水産省
	10:45～12:30 (休憩) 13:30～17:00	＜＜農業経営の問題解決方法について学ぶ＞＞ 農業経営における問題解決手法について、具体的事例などから学ぶ	株式会社kenma 代表取締役社長 今井 裕平 氏 AFJスタッフ
1/30 (金) 3日目	■農業経営者による取組事例		
	9：00 ～10：45	＜＜農業経営者の取組み事例について学ぶ＞＞ 生産から加工・販売までの一貫経営を確立し、地域の農地を守り発展させているジェイ・ウィング・ファームの牧社長より、地域に雇用を生み出す経営について学ぶ	有限会社ジェイ・ウィングファーム 代表取締役社長 牧 秀宣 氏
	11：00 ～12：45	＜＜農業経営者の取組み事例について学ぶ＞＞ 全国屈指の大規模経営を実践しているフクハラファーム福原社長から、生産、管理の基盤を整え見える化し、農業経営の安定化を図る取組みについて学ぶ。	有限会社フクハラファーム 代表取締役社長 福原 昭一 氏
	13：45 ～17：00	＜＜農業経営のリスクや問題を把握する＞＞ 農業経営におけるリスクや問題を把握するため、課題解決の為のケースメソッド形式の講義にて学ぶ	株式会社kenma 代表取締役社長 今井 裕平 氏 AFJスタッフ

豪華講師陣のご紹介(本セミナーでご講演頂く講師陣)	
株式会社野菜くらぶ 代表取締役 澤浦 彰治 氏	農業経営者
1964年群馬県生まれ。農業高校卒業後、家業の農業に従事。95年有機野菜生産グループの野菜くらぶを、2004年に農業生産法人グリーンリーフをそれぞれ設立。2008年、第47回農林水産祭の蚕糸・地域特産部門で天皇杯受賞。著書に『農業で利益を出し続ける7つのルール』がある。	

有限会社ジェイ・ウィングファーム 代表取締役社長 牧 秀宣 氏		農業経営者
1952 年生まれ。1971 年海外派遣農業研修生として2年間アメリカの農業を学ぶ。1993 年(有)ジェイ・ウィングファーム設立。水稻、麦類を中心に生産から加工・販売までの一貫経営を確立し、約60ヘクタールの経営委託、45ヘクタールの作業委託を受けて、地域の農地を守り発展させている。第32回日本農業賞大賞受賞。		

有限会社フクハラファーム 代表取締役社長 福原 昭一 氏	農業経営者
1978年、大学卒業後市内の土地改良事務所に勤務。3年後に父親が病死したことをきっかけに兼業で農業に携わる。1989年、農業の大規模経営を目指して退職。翌年、10ha規模で専業農家として出発。現在、165haまで拡大、全国屈指の大規模経営を実践。契約栽培による稲作を中心とし、露地野菜や果樹などを積極的に取り入れて今後更なる大規模複合経営を目指す。2014年度アグリフードE X P O輝く経営大賞受賞。	

有限会社シュシュ 代表取締役 山口 成美 氏	農業経営者
1960年生まれ。地元である長崎県大村市で採れた農産物を、生産者に直接値段をつけてもらい、安全で安心、そして新鮮な旬の味を販売する地産地消の農産物直売所を全国に先掛けてオープン。地元の食材を使ったジェラートや洋菓子工房、パン販売、レストランなど加工販売も手掛けた農業交流拠点施設「おおむら夢ファーム シュシュ」へと事業を拡大し、長崎農業の楽しさと感動を日本中に波及させている。	

日程	時間割	テーマ	講師
1/31 (土) 4日目	■農産物の販売現場視察		
	8：30 ～18：00	調整中 ※㈱日本フードエコロジーセンターと直売所等の視察を予定	事務局 (アグリフューチャージャパン)
2/1 (日) 5日目	■農業関連産業等 関連講義		
	9：00 ～10：30	＜＜農産物・農産加工品の直接販売＞＞ 農産物・農産加工品の直接販売を手掛ける農業経営者の取組みについて学ぶ	有限会社シュシュ 代表取締役 山口 成美 氏
	11:00～12:45	＜＜消費者が求める農畜産物とは＞＞ 有機・無添加食品の通信販売における先駆者である株式会社オイシックスから消費者が求める農畜産物について学ぶ	株式会社オイシックス
	15:00～16:00	＜＜農業経営者に期待する事～産業界から＞＞ 産業界の立場から農業経営者に期待する事について学ぶ	前中華人民共和国駐劔特命全権大使 前伊藤忠商事株式会社 取締役 会長 早稲田大学特命教授 丹羽 宇一郎 氏
	13:45～14:45 16:15～18:00	＜＜経営計画の作成について＞＞ 今までの講義内容を踏まえ、最終日の発表に向け、自身の農業経営計画の作成を行う。	AFJスタッフ
2/2 (月) 6日目	■地域に活きる農業とは		
	9：00 ～10：45	＜＜農業経営者に期待する事～行政の立場から＞＞ 農業振興に力を入れている自治体首長より、行政の立場から農業経営者に期待する事について学ぶ	福岡県糸島市長 月形 祐二 氏
	11：00 ～12：45	＜＜経営計画の作成について＞＞ 今までの講義内容を踏まえ、最終日の発表に向け、自身の農業経営計画の作成を行う。	AFJスタッフ
	13:45～15:30 (休憩) 15:45～18:00	＜＜目標発表に向けたアウトプットの練習＞＞ 自身の農業経営計画について、最終日の発表に向け、プレゼンテーションの演習を行う	AFJスタッフ
2/3 (火) 7日目	■経営計画の発表		
	9：00～12:00	＜＜経営計画の発表＞＞ 講座を通じて学んだ内容を踏まえた自身の農業経営計画について、発表を行う	AFJスタッフ
	12:00～12:30	＜＜修了式＞＞	AFJスタッフ

丹羽 宇一郎 氏	経営者
1939年、愛知県生まれ。1962年3月名古屋大学法部卒業、同年4月伊藤忠商事入社、主に食料部門に携わる。1998年同社社長、2004 年会長に就任、2010年6月～ 2012年12月中華人民共和国駐劔特命全権大使。2013年4月早稲田大学特命教授に就任。2006年10月～2008年10月経済財政諮問会議民間議員、2007年04月～2010年03月地方分権改革推進委員会委員長。	

株式会社kenma 代表取締役社長 今井 裕平 氏		ファシリテーター
kenma Inc. 代表 神戸大学大学院自然科学研究科建設学修了。建築設計事務所を経て、複数のコンサルティングファームにて経営戦略のコンサルタント業務に従事。在籍中にデザインファームkenmaを設立。		

糸島市長 月形 祐二 氏		自治体関係者	
1958年生まれ。西南学院大学 法学部 卒業 民間企業、国会議員秘書、福岡県議会議員を経て、平成26年2月より現職。			
糸島市の紹介			
福岡県糸島市は、15万戸超す福岡市の西に隣接し、海、山、田園、市街地がバリエーションよく配置された自然豊かな			

福岡県糸島市は、150万都市福岡市の西に隣接し、海、山、田園、市街地がバランスよく配置された自然豊かな人口約10万人の都市。都市近郊型農業が盛んで、市内の産地直売所には、福岡都市圏を中心に多くの人たちが訪れる。最近では、首都圏の大手百貨店などで「糸島マルシェ」が催されるなど、糸島産農林水産物は、新鮮で安全なおいしい食材として県内外からも注目を集めている。今年度から、担い手不足など農業が抱える構造的課題の解決へ向け、一般社団法人アグリフューチャージャパンと連携して、地域の農業経営者の人材育成に向けた取組を開始。